昭和五年六月廿六日第三種郵便物認可
昭和六年七月三十日發行

町村新報

發行日　毎月二回十五日卅日
編輯兼印刷發行人　酒井秀吉
發行所　福島縣石城郡磐崎村大字下湯長谷勝善三十八番地　町村新報社
定價　一部金十錢　一ケ月金二拾錢
廣告料　五號活字十二字詰　一行金二十錢　別色刷　四十錢

町村會議員連盟
不景氣對策

曩きに本紙に於て發表したる、町村會議員の一大連盟を造る事、現今の不況對策講究に對しては、各方面より多大なる讃成を得、其機の熟しつゝあるは、萬人之を認むる處である、要するに今之を他町村に擢んで主唱する者なきに止る丈である、義あり俠ある士人の奮發を望み、以て意義ある時世救濟の一日も早く現出せん事を望むものである。

盛大を極めし
圍碁大會

梅雨も明けて一時晴れ渡りし空、暑氣俄かに加はり煽風機の取付けに心急ぎ、氷屋の暖簾に涼氣を呼ぶ夏らしき氣候になり、農家の仕事も一段落になつたので納涼圍碁大會と銘打つて磐崎愛石會主催、町村新報社後援の下に豫定の十二日午前八時より磐崎村上湯長谷姥之湯に於て開催された、時恰かも再び梅雨返りの霖雨續き道は泥濘膝を沒するの有樣、イクラ好きな連中の事でも此の雨では僻易するではないかと、司會者の心配も杞憂で或は徒歩に或は自働車に刻々集り來る戰士は遂に三十余名に達した、内郷村宮よりは總師濱崎氏宮下氏、其他の勇將を從ひ湯本町よりは福井氏を大將に森氏、鈴木氏其他の鬪將續々として來會す、平町よりは山田氏外一騎當千の將士、其他泉、小名濱と勇氣鼓々たる勇士揃えで主催側の磐崎よりは弱しといへども飽く迄戰はん意氣を示し九時少し前より各自戰端は切つて落される、湯本木村氏は種々斡旋の勞を取られ大に進擊勝敗の便宜を計られる、日頃腕自慢の大將株は互にいや高き天狗の鼻に一層輪をかけて、高からしめんと、この晴れの戰陣に神技妙腕を揮つて一石〳〵苟且にせず、實に龍攘虎搏忽ちにして、活殺轉倒の場景を展開し、葉武者といへども其心境は又眞劍なるものあり、岡目には隙だらけの危險なる構えを以て相對し、却つて手に汗を握らせる接戰を演ぜしめ、實に肉動き血躍る突擊戰で、時々入湯に戰塵を洗ひ落しては新たなる勇氣をこ舞して對策を廻らす、姥の湯樓上差しも廣き處に十面の碁盤に見るからの修羅場を捲き起し、喘ぐあり、うめくあり、噢聲、嘆聲、喜悲交々各十二分の百パーセント以上の歡を盡して午后五時閉會を宣し、優賞者に賞品を贈呈解散した、當日勝者の手合せは左の通りである。

第一等　全勝者
緣川氏（宮）

差の立つのは要するに母の敎養如何や貧富の差閑境の如何種々雜他の內容により差別が付く、年若ければ若い程幼子は比較的同一の標準に立つを認めるだろう宗敎も人類と共に進化する其の敎典も內容に時代の變化を物語る自然の界法則は因果を認める佛者の緣果とはたして如何

救ひの眞光は何處

釋迦、基督、ソクラテスあらゆる聖人は現世では惠まれた日はなかつた、然し其の功績は幾千年の後世と云へど讃として輝き、幾万の民衆を救へ來たかは實に其聖恩は感謝の外はない、然しなぜ現世に於て救ふ道を解かなかつたか、安心立命はこれ人類の最大なる幸である、けれどなぜ一歩進めて其の內容敎典の一大變化を求めざるや、現世を別にしてそこに幸福はあるまじ彼の天國と叫び、極樂淨土と云ふも現世に於ての曰へならん、死後未來を持出すは愚や如何に愚人の締を敎へたにせよ此の世の不合理を認定する樣なものだ大自然の不可効力を神秘化しそして因果應報を解き、精神的には絕對界の眞愛を叫ぶあらゆる信敎は一時の締主義を出でない現世に於て惠まれざるものなんで彼の土に於て惠まれ樣、あらゆる苦樂、肉体ありて初め苦痛あり、快樂あるにあらずや、精神の苦や皆肉体の所產ならずや、肉体あり精神あるにあらざれば肉の滅する時即ち我の滅する時で死後の生活はあるまじ佛の信徒が如何なる緣念を付けても要するにそれは大自然の運行を物語るに過ぎない、物に優劣の差を見るそれは因るに加ふる處の外分の內容の變化に外ならん稻にしろ麥にしろ天候及風土の如何によりて其の差別を見る人間は誰しも持つ內容に同一だ、しかしそれに

（以下次號）

暑中御伺

磐崎村長　酒井嘉藏
助役　酒井賢吾
收入役　佐藤八郎
書記　白鳥宏弐
佐藤菊松
中野常助
吉田正治
箱崎恒司

磐崎下湯長谷　久保木代書事務所　久保木丈介
種子と農產具　織內農具店　磐崎村
久田醫院　磐崎村
和洋御菓子　酒井屋支店　磐崎村
荒物雜貨商　磯上忠太郎　磐崎村
格安な自轉車　小野自轉車店　湯本石畑
磐崎尋常高等小學校　大平喜一郎
高濱兼悳　外職員一同
湯本尋常高等小學校　篠原保治
湯本町長　小泉三代喜
◈良品廉賣に勝る商略なし　磐城セメント會社特約店
和洋銅鐵金物問屋㊄釜屋商店　磐城平、五　電話九番　九九番　振替口座東京一〇九五六番
確實敏捷は釜屋の生命なり
◈藥の御用命は!!　卸小賣商　精製コールタール　一般計量器　消毒用藥品　岩瀨屋藥舗　湯本町石畑